

附録第四

通作戦計畫ノ大要

一 作戦方針

軍ノ全カヲ速カニ南部「ベグー」山系内ニ集結シ向山系ヲ根柢トシテ「ベグー」—瀾賓街道—「マングレー」—瀾賓街道及瀾賓方面ニ對スル遊撃作戦ヲ展開ス

爾後機ヲ見テ「シツタン」平地ヲ横斷シテ「シヤン」山系西麓地區ニ到達シタル後「ピリン」附近ニ向ヒ前進ス

ニ 指導ノ概要

(1) 第一期 自五月下旬—「ベグー」山系内ニ向フ集結ノ爲ノ機動作戦)
第五十四師團ハ北方ノ敵ニ對シ「アランミヨウ」東西ノ線附近ヨリ「ブローム」東西ノ線ニ亘ル間ノ地區ニ於テ據武兵團ハ瀾賓方面ヨリ前進スル敵ニ對シ「タイキ」—「レバダン」間ノ地區ニ於テ夫々敵ノ前進ヲ拒止シ其掩護下ニ速カニ後方集積軍需品ノ山系内搬入ヲ實施シツ、軍ノ全カヲ「ベグー」山系内ニ集結ス

0845

(2) 第二期 自五月中旬至六月中旬 (「ベグー」山系ヲ根據トスル遊撃作戰及第三期以降ノ爲作戰準備)

集結地域及作戰地域 (根據地域遊撃地域搜索地域) ノ概要ヲ作戰計畫附圖ノ如シ

狀況ニ依リ本期ニ引續キ遊撃作戰ヲ續行スルコトアリ

(3) 第三期 六月下旬 (「シツタン」平地突破作戰)

突破正面ヲ「ニュアンレピン」以北「トングー」以南ノ正面ト豫定シ各方面一齊ニ「バグー」山系東麓地區ヨリ行動ヲ發起シ至短期間ニ「マンドレー」街道及「レツタン」河ヲ突破シ「シヤン」

山系西麓地區ニ到達ス

(4) 第四期 自六月下旬至七月下旬 (「ピリン」附近ニ向フ機動)

振武兵團ヲシテ「シユエチン」附近ノ敵ニ對シ軍主力ノ機動ヲ掩護セシメ軍主力ハ概ネ獨立混成第百五旅團軍直部隊第百五十四師團ノ順序ヲ以テ「シヤン」山系西麓ニ沿フ地區ヲ「ピリン」附近ニ向ヒ機動ス

振武兵團ハ軍主力ノ「シユエチン」附近通過ト共ニ其ノ後方ニ續

行ス

(5) 編成ノ改編

各兵團ハ概ネ聯隊ヲ單位トスル遊撃戰單位ニ改編シ各單位部隊夫々獨立ノ遊撃戰鬥能力ヲ附與ス

(6) 第三期作戰ノ爲企圖秘匿

「シツタン」平地横斷企圖ヲ嚴ニ秘匿スル爲「シツタン」平地方面ニ派遣スル斥候等ハ有能ナル者ヲ簡拔シテ極力其ノ數ヲ極限シ縮形ヲ以テ行動セシムルト共ニ「ブローム」―蘭貢街道方面及「マギー」方種ニ果敢ナル斬込戰ヲ展開シ敵ノ注意ヲ同方面ニ牽制スルニ努ム

三 部署ノ大要

(1) 軍隊區分

第五十四師團

配屬部隊

歩兵第五百十三聯隊

第四十九師團特科部隊ノ各一部

0847

干城?

策輸送隊 西南補給廠各三分ノ一

區處部隊

第一百十八兵站病院

振武兵團

長第五十五步兵團長 長 澤 少 將

步兵三大隊

山砲兵第五十五聯隊 (二大隊缺)

工兵第五十五聯隊 (約二中隊缺)

策輸送隊 西南補給廠各三分ノ一

獨立混成第七十二旅團

獨立混成第五百五旅團

配屬部隊

蘭貢ニ於テ臨時召集ニヨリ編成セル蘭各部隊

第九十二飛行場大隊

海軍第十三警備隊主力 (約八〇〇名)

軍直轄部隊

歩兵第百二十一聯隊（一大隊缺野砲兵第五十四聯隊ノ一大隊屬

神威部隊

策輸送隊西南補給廠各三分ノ一

(2) 第一期行動ノ爲各兵團集結要領

各兵團ハ先ヅ其ノ作戰地域内ニ於ケル「ベグー」山系内ヲ含ム
山系西麓地區ニ兵力ヲ掌握シタル後山系内ニ進入集結ス

之ガ爲北方正面ヨリ後退スル各兵團ノ行動ヲ左ノ如ク統制ス

(イ) 獨立混成第七十二旅團ハ「ハウンヂ」ー「トングー」道（含

ム）以南遊撃地域ヨリ山系西麓ニ到達ス

(ロ) 第五十四師團ハ向以北地區ヲ行動ス

(ハ) 振武兵團ハ其ノ遊撃地域ヲ經テ山系内ニ集結ス

(ニ) 各兵團ハ一部ノ部隊ヲ先遣「イラワヂ」右岸ニ沿フ地區ニ一

部ノ監視部隊ヲ配置シ「イラワヂ」河ヲ水上機動ニヨリ南下

スル敵ノ行動ヲ監視妨害ニ任ゼシム

(ホ) 獨立混成第百五旅團ヲ配屬セフレタルトキハ振武兵團ヲ南方

地區ニ集結ヤシムルガ如ク豫定ス

0849

ル舟艇、小艦艇ヲ以テスル威力投索、落下傘謀者ノ投入等ハ活潑
化スベシ

四 使用兵力

アラカン方面陸正面

三一四師團

印度第二十五師團

ヲ含ム

アラカン方面海正面

アキヤブ地區

西阿第八十一師團

ラムレ島

各約一師團

ナエドバ島

イラワヂテルタ地帯

四一五師團

空挺二一二師團

海軍 航母三四 戦艦五一六ヲ基幹トスル 英印度洋艦隊ノ主力
飛行機 五一六〇〇機

0850